



荒高PTA・後援会だより

いなりだい

Vol. 85

令和2年7月22日発行

発行：山形県立荒砥高等学校PTA・後援会
編集：山形県立荒砥高等学校PTA文化部
連絡先：〒992-0831
山形県西置賜郡白鷹町大字荒砥甲367
TEL(0238)85-2171 FAX(0238)85-2823
URL <http://www.arato-h.ed.jp/>



「新しい生活様式」の時代
PTA会長 菊地 信一
今年度、PTA会長と申します。不馴れな為不安もあり至らない点、多々あるかと思いますが、地域の皆様、学校教職員関係者、そして後援会、PTA役員、会員皆様方の力をお借りしながら、今年度の荒砥高校PTA活動に取り組んでいきたいと考えている所でございます。

さて、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策で、学校生活スタートが遅れるという異例の年となりましたが、今までの生活を振り返るには良い期間になったのではないかと思います。大切な人を守る行動。家族、友人を思う大切さを身に染みて感じたのではないのでしょうか。これからは、「三密」回避などを取り入れた新たな生活様式を考え、問われる事が多々あるかと思えます。不自由を感じるかもしれませんが、慣れないかもしれませんが、これからの生活は、コロナと



の共存と言われる時代となります。一つ一つ学びながら生徒たちに頑張ってもらいたいと思います。最後にありますが、地域の皆様、後援会皆様方には日頃より荒砥高校への厚いご協力に感謝申し上げます。そして、教職員先生方にも日頃の手厚いご指導にはお礼を申し上げます。本年度も、PTA会員皆様のご理解とご協力をお借りしながら、今年度一年間を務めて参りたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

令和2年7月22日発行

いなりだい

第85号(4)

新任者紹介

よろしくお願いします



教頭 猪又 義則 教頭



教務課 2年次副担任・英語科 秋野 幸恵 先生

春には校舎の周りの桜が満開となり、自然に囲まれた環境の中で、明るく素直で元気に挨拶ができる生徒、すばらしい学校だと感じています。生徒の皆さんが、自分の目標を見つけて、その目標に進んでいけるようにお手伝いできればと思います。よろしくお願いします。



生徒保健課 1年次副担任・通級 松野 俊弘 先生

三年ぶりに荒砥高等学校に戻ってきました。「通級指導」を担当しています。一年次付副担任です。どうぞ宜しくお願いいたします。



生徒保健課 3年次副担任・社会科 佐々木沙也加 先生

左沢高校から来ました。佐々木沙也加と申します。大変な状況ですが、できることを探して頑張りますよ！



進路指導課事務補助 梅津 友加 さん

初めまして。先生や生徒さんと身近な環境で学生時代に帰ったような懐かしさ、新鮮な気持ちで過ごしています。よろしくお願いします。

健全育成部

今年度の活動について

健全育成部長 青木 重典

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う臨時休校のため、四月の入学式以来約一カ月半遅れで学校が再開されました。それにより様々な行事も中止となっており、健全育成部としても、例年ならば年二回の街頭指導と列車乗車マナーアップ運動を行ってありますが、今のところ活動が出来ない状況になっております。現在は生活スタイルも少しずつ変わっての生活になっていきますが、早く元の生活に戻り生徒達が安心して生活できる日が来ることを心より願っています。



代替大会壮行式

文化部

今年度の活動予定

文化部長 佐藤 早苗

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、異例のスタートとなりました。

毎年「いなりだい」ではたくさんの方の行事を紹介してきましたが、今年は体育祭や地区総体など様々な行事が中止となり、生徒達が活躍する姿を掲載できない状況です。今後も例年通り行事ができるかは分かりませんが、「いなりだい」を通して生徒達の様々な活動を掲載していきたいと思っています。



編集後記

地区総体・県総体及び体育祭が中止ということで、三年生にとっては、悔しい一学期となりました。本号も四ページに縮小することとなりました。また、就職試験開始が一月遅れることになり、文化祭が八月下旬に変更となりました。恒例のPTA年次対抗鍋合戦も今年度は中止ということになります。が、会員の皆様には今後とも本校の教育活動にご協力をお願いいたします。

PTA担当職員 中嶋

編集委員

PTA文化部

部長 佐藤 早苗
副部長 菅間 務
部長 齋藤 武夫
部長 菊地 美和子
部長 松野 真樹
部長 渋谷 英明
部長 鈴木 麻里子
部長 小形 守
部長 鈴木 京子
部長 迎田 一昭

新型コロナウイルスの影響による休校に伴い部活動の自粛が続く中、白鷹町の荒砥高（海和雅人校長）吹奏楽部は、オンライン上でのミーティングや練習、新曲披露などに取り組んでいる。

荒砥高吹奏楽部が取り組み



4日午前8時半、同部の顧問の本田礼教諭（左）のパソコン画面に、全11人の顔が、ビデオ会議アプリ「Zoom」を介して映し出された。部員の健康状態の確認をはじめ、前日の練習における課題の共有といった約30分のミーティングが日課だ。演奏に関する課題は、動画や文書が共有できるグループコミュニケーションアプリ「BAND」を活用。部員は自らの収録した演奏動画を、BANDを通して本田教諭へ提出している。本田教諭は、各動画をチェックして個別にアドバイスを指導を行っている。

演奏にも生活にも 好影響



荒砥高吹奏楽部がオンラインでの部活に取り組んでいる。画面には部員が映し出され、顧問の本田礼教諭（奥）が指導に当たる
＝白鷹町・同校

録した演奏動画を、BANDを通して本田教諭へ提出している。本田教諭は、各動画をチェックして個別にアドバイスを指導を行っている。こうした活動は、先月7日からスタートし、週1回の登校日を除いて毎日行っている。本田教諭は「演奏指導だけでなく、生徒の生活リズムを整える助けにもなる」と、オンライン部活の有用性を挙げた。

オンライン部活 整うリズム

練習の成果ともいえるのが、SNS（会員制交流サイト）で話題を呼んでいる星野源さんの楽曲「うちで踊ろう」を使っていた動画の作成だ。OGの東北芸術工科大学芸術学部1年齋藤大音さん（19）が提案し、部員や卒業生など27人が各自の演奏を録画。それぞれの映像を編集して仕上げた。動画投稿サイト「YouTube」で公開し、同部のチャンネルから視聴できる。

「山形新聞 2020年5月5日(火)」



生徒総会も新しい生活様式で



令和二年度 生徒会執行部

共に新たなステージに向かって



後援会長 菊地 豊宗

校の教育活動支援のために、物心両面にわたり、ご支援ご協力を賜り心より御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症の影響で、今年度の入学式をはじめ、様々な学校行事が縮小や中止となり、漸く五月二十五日より平常授業に戻れたようですが、クラスター発生防止のため、コロナと共存する新しい学校生活様式の中で一人ひとりが万全の注意を払いながら真剣に取り組まれている諸先生方や生徒達に「頑張れ」と声援を送ります。この度の苦い経験は、生徒達にとって将来必ずプラスとなって活かされる事でしょう。



校長 海和 雅人

乗り越える力 ウイズコロナ時代のレジリエンス

PTA並びに後援会の皆様には、日頃より本校の教育活動に深いご理解と多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症は、教育界にも大きな影響を与えています。昨年度末の卒業式は、ご来賓の方々

のみならず保護者の皆様もご遠慮いただく結果となりましたが、何とか規模を縮小し門出を祝うことができました。今年度の入学式は、当初から二週間遅れの桜が咲き誇る時期に執り行いました。保護者の皆様の参列のもと、二十四名の新入生を迎え入れることができたことは大変喜ばしいことです。また、緊急事態宣言が解除された後、徐々に授業が再開され、六月一日からは部活動も制限付きで再開されています。「新しい生活様式」のもと、ようやく学校に花が咲き戻ったような感じがします。

それまで本校では、生徒と教員がオンラインでやりとりをしたり、吹奏楽部が励ましの演奏動画をアップしたりと、この状況で、今できることを考え協力して行っています。地域の方々はじめ教育現場を支えてくださる皆様の励ましを受けて、知恵を出し合いながらこの困難を乗り越えようとして、少しずつではありますが前に進んでおります。

令和二年度 後援会役員	
会長	菊地 豊宗 (瑞穂寺住職)
顧問	佐藤 誠七 (白鷹町長)
	沼澤 政幸 (白鷹町教育委員会教育長)
	土方 俊男 (前荒砥高等学校後援会会長)
	新野 晃敏 (荒砥高等学校管理学校医)
	青木 彰榮 (荒砥高等学校同窓会幹事・出興議員)
副会長	長澤 一雄 (前二小三白鷹代表取締役社長)
	早田 久次 (株ハヤタ製作所代表取締役)
	竹田 良一 (山形新興代表取締役)
	黒澤 利朗 (白鷹町商工会会長)
	菊地 信一 (荒砥高等学校PTA会長)
	海和 雅人 (荒砥高等学校校長)

令和二年度 PTA役員

会長	菊地 信一 (兼三次部会長)
副会長	木口 統喜 (兼二次部会長)
	横山 歩御 (兼二次部会長)
	遠藤 茂男 (兼一次部会長)
文化部長	海和 雅人 (荒砥高校校長)
健全育成部長	佐藤 早苗 青木 重典